

いもうとの仕上げ磨き

湖東第一小学校 2年 松本 あやめ

私には、すみれという2歳の妹がいます。私とすみれは、寝る前に歯みがきをして、その後お母さんの膝に仰向けにゴロンと寝て、仕上げ磨きをしてもらいます。その時いつもすみれは、すぐにはゴロンとしません。お母さんが何度も、

「すーちゃん早くこっち来てゴロンして」

と言ってもまるで聞かず、部屋の中をうろうろしてお母さんから逃げています。

「あ！お口の中にむしバイキンがいるわ！早く磨いてやっつけよう！！」

とお母さんが言って、私も

「本当だ！！磨いてもらおう！」

と言っても、まるで「ふ～ん、別にいい」という顔でこっちを見ません。すみれは言葉をたくさん話せないけど、顔で何となく気持ちがわかるし、私やお母さんが言う事もきっと分かっていると思います。

なかなか来ないすみれにお母さんが、

「ねえねは、小さい頃すぐ来てくれたし、楽しんで仕上げ磨きをしていたよ」

と言います。そのおかげで、私はむし歯はありません。甘いお菓子もジュースも大好きだけど、虫歯が無いから美味しいし、必ず仕上げ磨きをしてもらえるので気にせず食べています。すみれもその事に早く気付いたらいいのにと思いました。

「じゃあ、お父ちゃんに磨いてもらおう？」

とお母さんが聞くと、すみれは小さい声で、

「ねえね」

と言います。私の出番です。私は嬉しい気持ちでやる気満々です。すみれがアーンとする口は小さくて、とても磨きにくいけど、終わるまでじっと我慢出来たら、

「よくできました！えらかったね」

と褒めてあげます。白い歯を守るために私は頑張りたいと思います。